

## 令和2年度 事業計画

令和2年度は、地図情報技術及び地理空間情報技術に関する研究開発、普及促進、人材育成等事業を一層の充実を図り、地理空間情報活用社会の健全な発展に貢献し、「測量法」並びに「地理空間情報活用推進基本法」に基づいて整備された基盤地図情報と電子国土基本図等の地理空間情報の適正な利活用及び流通に、地図調製技術を駆使して安心・安全や国民生活の利便向上に寄与する事を活動の目的に、次の諸事業を実施する。

1. 地図情報技術及び地理空間情報技術に関する調査・研究開発  
地図調製技術の向上を図るため、基盤地図情報及び電子国土基本図並びに電子地形図、数値地図等を流通・利活用促進に関する調査・研究開発を行なう。
2. 地図情報技術及び地理空間情報技術に関する人材育成  
地図調製技術者並びに営業担当者等の資質を高めるため、技術研修会・研究会・教育講座研修事業等を開催する。
3. 地図情報及び地理空間情報に関する広報・普及  
地図調製に関する技術等について、内外の情報を収集しその情報資料の蓄積を図るとともに、機関誌の発行、研修会等の開催及びインターネット（ホームページ）を通して地理空間情報の普及の為に広報活動を行う。
4. 国、地方公共団体からの業務受託  
国、地方公共団体からの地図調製技術及び地理空間情報に関する調査・研究業務の受託に向けて努力する。
5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業。

### I 会議関係

1. 通常総会 毎年5月に年1回、その他必要がある場合に開催
2. 理事会 年2回、その他必要がある場合に開催
3. 業務執行理事会
  - 1) 運営課題の審議
    - ・地理空間情報の利活用促進のための広報活動
    - ・組織（理事会、委員会、部会等）の強化
    - ・定款に基づく諸規程の見直し改定
    - ・会員勧誘活動
    - ・その他
  - 2) 地理空間情報時代の「地図調製業」のあり方について施策の策定
    - ・地図情報技術、地理空間情報技術並びに相互の融合技術を資産とした技術集団の新たな事業領域の確立
    - ・組織活動の強化（理事会・委員会・部会の有機的な関係強化）
    - ・次世代の人材育成
  - 3) 対外活動
    - ・国土地理院をはじめ関連団体等で開催される委員会、懇談会、協議会等に積極的に参加し、地図調製業の社会的な役割の向上と貢献に寄与する活動を実施する。

### II 事業実施計画概要

令和2年（2020年）は多くの人とモノが移動する社会が形成され、IoT（Internet of Things）でつながり、様々な知識と情報が共有され、人工知能（AI）により課題や困難を克服し必要な所に

必要な情報が提供されるようになります。

2016年に閣議決定された「第5期科学技術基本計画（2016～2020）」は未来の産業構造と社会変革に向け、人々の豊かさをもたらす「超スマート社会（Society5.0）」を未来の姿と提起され、基盤技術の1つとして「3次元地図情報」が重要な位置付けとされています。

当協会もイノベーションにより、様々なニーズに多種多様な地図情報を提供することで、積極的な事業に取り組み、次の諸事業を実施する。

1. 地図情報技術及び地理空間情報技術に関する調査・研究開発
  - 1) 令和2年度も引続き、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた多言語対応協議会及び観光・サービス分科会及びアクセシビリティ協議会に積極的に参画する。
  - 2) 測量行政懇談会に委員として参画する。
2. 地図情報技術及び地理空間情報技術に関する人材育成
  - 1) 技術シンポジウム、真夏のシンポジウムを開催し、基調講演及び発表、意見交換を行ない、会場内で展示・デモンストレーションを行う。
  - 2) 地理空間情報に関連する政策的・技術的トピックスについてミニセミナーを開催する。
  - 3) 地図調製における著作権処理の啓発セミナーの開催
  - 4) 測量法上の地図利用の申請手続きについての研修会開催
  - 5) 営業研修会を開催し、「地図調製業会のビジネスモデル」等をテーマにワークショップ形式で実施する。
  - 6) 令和2年度も全国児童生徒地図作品展連絡協議会の特別会員として社会教育の一環として行われている地図を使った教育の一層の向上を図る支援事業として児童生徒作品展において後援及び表彰状の交付を行う。
3. 地図情報及び地理空間情報に関する広報・普及
  - 1) 機関誌「地図ジャーナル」の刊行
  - 2) 「くらしと測量・地図展」など「測量の日」関連行事に主催団体の一員として参画する。
  - 3) 地図展推進協議会が実施する「地図展」に主催団体の一員として参画する。
  - 4) 地図をテーマとした交流イベント「地図カフェ」の開催。
  - 5) 近代測量150年記念事業推進会議に参画する
    - ・測量・地図150年史（仮称）の編纂事業に参画
  - 6) 広報推進協議会（調整ワーキング会議）に参画する
  - 7) （一財）建設物価調査会及び（一財）経済調査会などへの地図調製に関する資料の提供
  - 8) ホームページによる情報提供及び広報活動
4. 国、地方公共団体からの業務受託

### III 委員会別事業計画

#### 1. 企画委員会

- 1) 研究・教育部会は、地図調製技術並びに地理空間情報技術の向上を図るため次の事業を実施、または実施を計画している。
  - (1) 技術シンポジウムの開催（測量CPD対象）
    - ～会員共通の利益となる地図調製技術の普及・啓発を目的に会員及び一般参加者を対象としたシンポジウム～
  - (2) 「まちあるきイベント」の開催（測量CPD対象）
    - ～一般の方に地図の利活用を促すことを目的に、地図をテーマにした、あるいは地図を活用した街歩きイベント～
  - (3) 「地図カフェ」の開催
    - ～一般の方に地図へのより深い理解を促すことを目的に、気軽に参加できるサイエン

スカフェ形式のイベント～

(4) ミニセミナーの開催

～地理空間情報に関連する政策的・技術的トピックスについて業界内外から講師を招聘したミニセミナー～

(5) 「真夏のシンポジウム」(測量CPD対象)

～地図技術をより深掘する形で、業界全体で地図調製のアイデンティティを考える会

2) 事業部会は、事業の推進を図るため次の事業を実施、または計画している。

(1) 営業研修会の開催(測量CPD対象)

～会員社を対象に、営業活動のヒントとなるテーマをワークショップ形式で実施する営業研修会～

(2) 「地図調製ハンドブック」の改訂についての検討

～地図調製技術の進展に即した作業方法及び承認申請の簡素化への対応等、測量法の適正な運用について周知を目的に改訂の検討を行う～

(3) 地図調製に関する資料の提供

～(一財)建設物価調査会並びに(一財)経済調査会などへの地図調製に関する資料の提供～

2. 総務委員会

1) 経営部会は、領域拡大を図るために次の事業を実施、または計画している。

(1) 「地図調製における著作権処理の会員社への啓発セミナー」の開催

～著作権処理に関する地調協としての考え方や方法論についての啓発セミナー～

(2) 測量法に基づく地図の利用手続きの運用についての説明会

～会員及び外部向けに地図の利用手続きの改正の背景、改正後の手続きについて

(3) 測量法に基づく地図等の利用手続きの運用についてのパンフレット作成

～改正された「地図の利用手続きの運用」についての電子データパンフレット作成～

(4) 会員増募対応の「入会案内」の作成頒布

2) 広報部会は、地理空間情報の活用及び普及宣伝を図るため次の事業を実施、または計画している。

(1) 機関誌「地図ジャーナル」の刊行(年2回)

(2) 「測量の日」関連行事への共催

～「測量の日」実行委員会の一員として「くらしと測量・地図展」等に参画する

(3) 「2020 地図展」の共催

～地図展推進協議会「2020 地図展」を主催者として参画する～

(4) インターネット環境を活用した情報提供及び広報宣伝活動